

安曇野ナンバー住民アンケート結果  
報 告 書

令和4年10月



## 報告書 目次

第1章 アンケート調査	1
1.1 アンケート調査の概要	1
(1) 実施期間	1
(2) 市町村別の配布数と回収数	1
(3) 調査票	2
第2章 アンケート調査結果の集計	3
2.1 単純集計（選択式設問）	3
(1) 年齢	3
(2) 安曇野ナンバーに関する考え方	4
(3) 安曇野ナンバー導入後の期待	5
2.2 クロス集計	8
(1) 市町村・年齢別の賛否	8
(2) 市町村・年齢区分別の期待	10



# 第1章 アンケート調査

## 1.1 アンケート調査の概要

### (1) 実施期間

調査の実施期間は令和4年7月29日(金)～8月19日(金)である。

### (2) 市町村別の配布数と回収数

アンケートは安曇野市、生坂村、池田町、松川村に在住の18歳以上を対象とし、自治体ごとに対象者を無作為に抽出、郵送で配布・回収を行った。

市町村別の配布数と回収状況を下表にまとめる。4市町村全体の回収率は49.6%であった。市町村別の回収率は生坂村、池田町、松川村、安曇野市の順となっている。

表 各自治体の配布数・回収状況

	人口(人)	配布数(通)	回収数(通)	回収率(%)
安曇野市	93,573	2,000	899	45.0
生坂村	1,623	700	440	62.9
池田町	9,095	1,000	503	50.3
松川村	9,546	1,000	488	48.8
全体合計	113,837	4,700	2,330	49.6

注) 令和4年7月1日現在の人口

(「長野県(企画振興部)プレスリリース令和4年(2022年)7月29日より)

### (3) 調査票

調査に用いた調査票は下記のとおりである。

#### 「安曇野ナンバー」導入に係るアンケート用紙

問1. あなたご自身についてお答えください。

(1) あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- |            |            |            |          |
|------------|------------|------------|----------|
| 1. 10代、20代 | 2. 30代、40代 | 3. 50代、60代 | 4. 70代以上 |
|------------|------------|------------|----------|

(2) お住まいの地域をお答えください。(1つに○)

- |         |        |        |        |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 安曇野市 | 2. 生坂村 | 3. 池田町 | 4. 松川村 |
|---------|--------|--------|--------|

問2. あなたの安曇野ナンバーに関する考え方をお答えください。(1つに○)

- |       |              |              |       |
|-------|--------------|--------------|-------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかという賛成 | 3. どちらかという反対 | 4. 反対 |
|-------|--------------|--------------|-------|

問2で「1. 賛成」または「2. どちらかという賛成」と回答した方のみご回答ください。

(1) 安曇野ナンバーを導入した後に期待することをお答えください。(1つに○)

- |              |             |        |
|--------------|-------------|--------|
| 1. 地域の一体感の醸成 | 2. 観光連携の一体化 | 3. その他 |
| ( )          |             |        |

問3. 安曇野ナンバー導入へのご意見やご提案などあれば記載してください(自由記載)

--

アンケートは以上です。

同封いたしました返信用封筒(切手不要)に入れ、**令和4年\_\_月\_\_日(\_\_)まで**にお近くのポストへ投函をしてください。

※直接お持ち込みの場合は、同封いたしました返信用封筒(切手不要)に入れ、各自治体の担当まで、ご提出をお願い申し上げます。

## 第2章 アンケート調査結果の集計

### 2.1 単純集計（選択式設問）

ここでは選択式の設問の集計結果をとりまとめる。

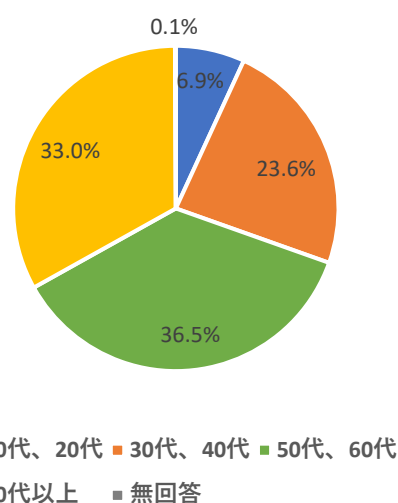
なお、比率については四捨五入等行っているため、合計が100%にならない場合がある（以降同様）。

#### （1）年齢

4市町村合計で、10代・20代が6.9%、30代・40代が23.6%、50代・60代が36.5%、70代以上が33.0%であった。

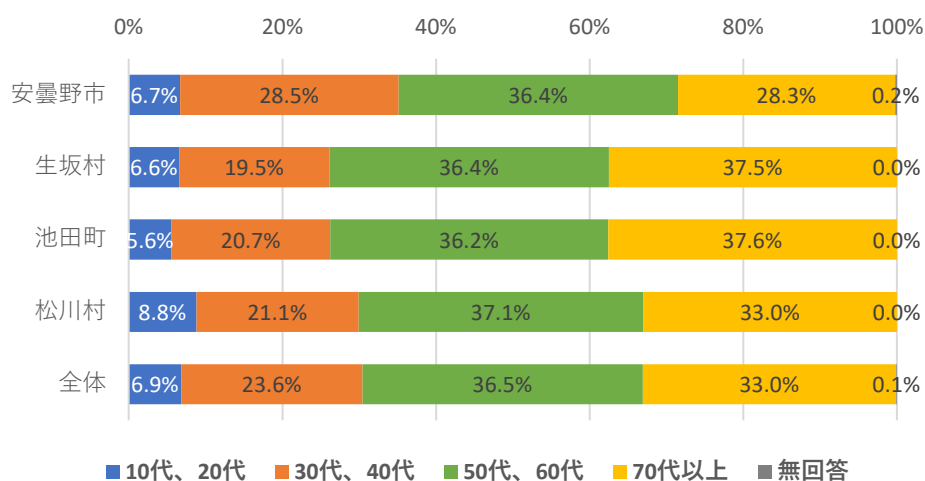
4市町村合計と自治体別の集計を比較すると、50代以上の回答が生坂村、池田町、松川村で多い傾向がわかる。安曇野市では30・40代の回答が他世代に比べて多い傾向にある。

四市町村全体・Q1年齢



問1 年齢	選択肢	安曇野市		生坂村		池田町		松川村		全体	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	計(通)	比率
1	10代、20代	60	6.7%	29	6.6%	28	5.6%	43	8.8%	160	6.9%
2	30代、40代	256	28.5%	86	19.5%	104	20.7%	103	21.1%	549	23.6%
3	50代、60代	327	36.4%	160	36.4%	182	36.2%	181	37.1%	850	36.5%
4	70代以上	254	28.3%	165	37.5%	189	37.6%	161	33.0%	769	33.0%
0	無回答	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
	計	899	100.0%	440	100.0%	503	100.0%	488	100.0%	2,330	100.0%
	配布数/回収率	2,000	45.0%	700	62.9%	1,000	50.3%	1,000	48.8%	4,700	49.6%

市町村別・Q1年齢

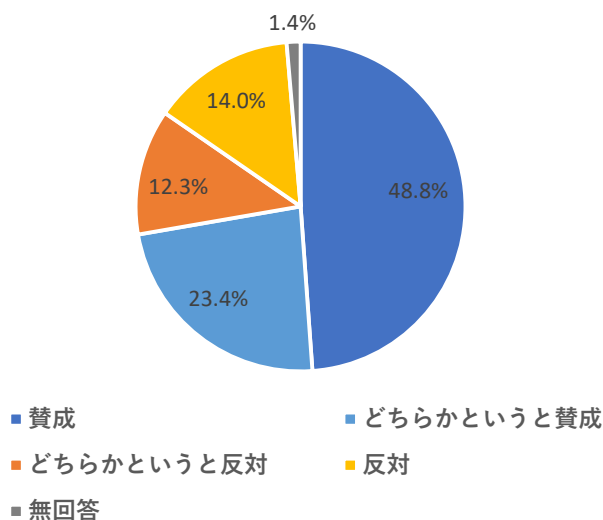


## (2) 安曇野ナンバーに関する考え方

4市町村合計で、安曇野ナンバー導入に関して「賛成」は48.8%、「どちらかという」と賛成」は23.4%、両者を併せて72.3%であった。

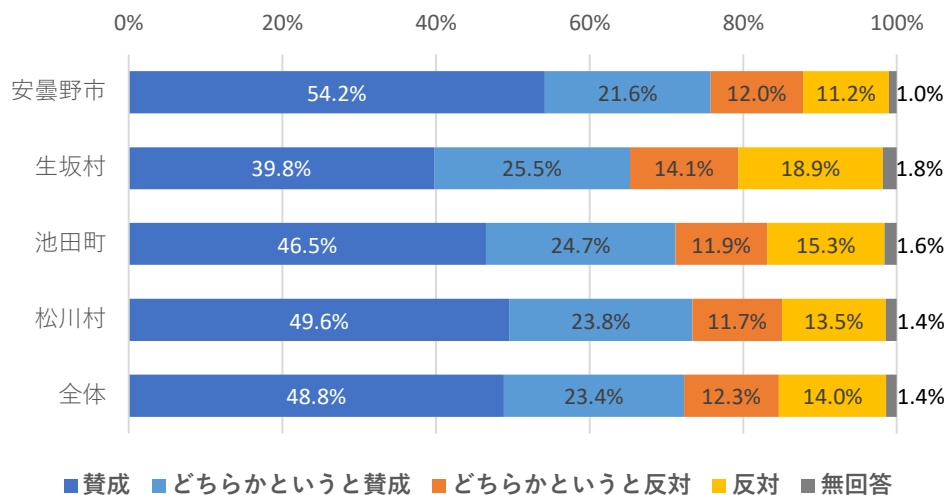
一方、「反対」は14.0%、「どちらかという」と反対」は12.3%、両者を併せて26.4%であった。市町村別にみると、『どちらかという」という回答も含めた賛成』は、安曇野市75.8%、松川村73.4%、池田町71.2%、生坂村65.2%の順になっている。

四市町村全体・Q2考え方



問2 考え方	安曇野市		生坂村		池田町		松川村		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	計(通)	比率
1 賛成	487	54.2%	175	39.8%	234	46.5%	242	49.6%	1138	48.8%
2 どちらかという」と賛成	194	21.6%	112	25.5%	124	24.7%	116	23.8%	546	23.4%
3 どちらかという」と反対	108	12.0%	62	14.1%	60	11.9%	57	11.7%	287	12.3%
4 反対	101	11.2%	83	18.9%	77	15.3%	66	13.5%	327	14.0%
0 無回答	9	1.0%	8	1.8%	8	1.6%	7	1.4%	32	1.4%
計	899	100.0%	440	100.0%	503	100.0%	488	100.0%	2,330	100.0%
1, 2 の合計	681	75.8%	287	65.2%	358	71.2%	358	73.4%	1684	72.3%
3, 4 の合計	209	23.2%	145	33.0%	137	27.2%	123	25.2%	614	26.4%

市町村別・Q2考え方



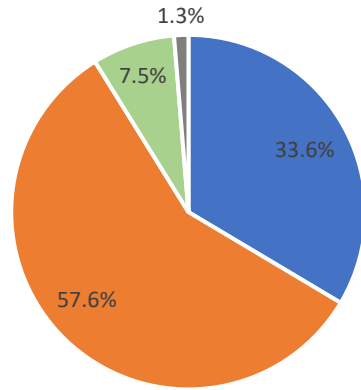


### (3) 安曇野ナンバー導入後の期待

#### ① 選択肢回答の集計

前ページの設問で賛成もしくはどちらかという賛成を選択した方に、安曇野ナンバー導入後に期待することについては、4市町村合計で観光連携の一体化が57.6%、地域の一体感の醸成が33.6%であった。市町村別にみると、生坂村、松川村では地域の一体感の醸成を選択する傾向が4市町村全体よりもやや強い。

四市町村全体・Q3期待

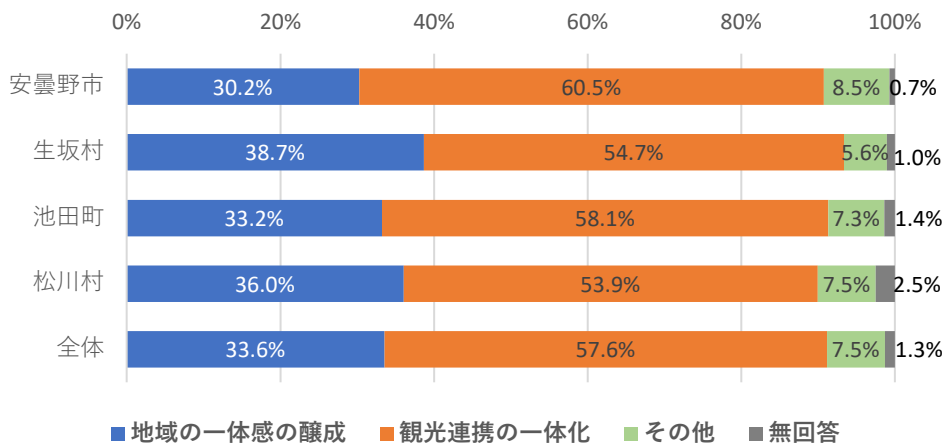


■ 地域の一体感の醸成 ■ 観光連携の一体化  
■ その他 ■ 無回答

【問2で1. か2.を選択された方】

問3 導入後の期待	安曇野市		生坂村		池田町		松川村		全体	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	計(通)	比率
1 地域の一体感の醸成	206	30.2%	111	38.7%	119	33.2%	129	36.0%	565	33.6%
2 観光連携の一体化	412	60.5%	157	54.7%	208	58.1%	193	53.9%	970	57.6%
3 その他	58	8.5%	16	5.6%	26	7.3%	27	7.5%	127	7.5%
0 無回答	5	0.7%	3	1.0%	5	1.4%	9	2.5%	22	1.3%
計	681	100.0%	287	100.0%	358	100.0%	358	100.0%	1,684	100.0%

市町村別・Q3期待



■ 地域の一体感の醸成 ■ 観光連携の一体化 ■ その他 ■ 無回答

## ②「その他」の記述回答一覧

この設問で「3. その他」の選択肢における自由記入の回答を、年齢や賛否などと組み合わせ自治体ごとの一覧表にとりまとめた。

### 安曇野市

問1年齢	問2 賛否	問2 期待	問2 導入後に期待すること_その他記述
3	1	3	安曇野の知名度の向上
3	2	3	知名度アップ
3	1	3	知名度の向上
3	1	3	知名度の向上
4	1	3	郷土愛の自覚
3	1	3	ドライブマナーの向上
3	1	3	全国に向けた知名度UP
3	1	3	1と2の両方
2	2	3	特別感
3	2	3	地域名のアピール
3	1	3	安曇野のイメージアップにつながるので
3	1	3	松本ナンバーの悪いイメージから切り離したい
4	2	3	何もない
4	1	3	1と2の両方
3	1	3	「安曇野」ネームブランドの認知度アップ
1	2	3	運転マナーの向上
2	1	3	安曇野ブランドの向上
2	2	3	市単位で行う手続きの簡便化
2	1	3	観光誘致
2	1	3	県内有数の観光地である「安曇野」の特別感の増益
4	1	3	地域の一体感の醸成と宣伝効果がある
2	2	3	知名度アップ
3	1	3	知名度向上
2	1	3	地域おこし
2	1	3	知名度のアップ
3	1	3	1と2の両方
2	1	3	安曇野ブランドの強化
3	2	3	県外への観光地としてのPR
3	1	3	事故、犯罪につながる時、特定しやすい
3	2	3	知名度、イメージアップ
3	2	3	1と2の両方
2	1	3	1と2の両方
2	2	3	知名度の向上
2	1	3	1と2の両方
4	1	3	安曇野住まいを愛しむ気持ち
4	1	3	1と2の両方
1	2	3	おもしろい
1	1	3	特に期待することはない
3	1	3	松本ではなく安曇野を全国に知ってもらう
3	1	3	安曇野市の地名度(認知)の向上
3	2	3	知名度が上がると思うから
3	1	3	「安曇野」の知名度向上

生坂村

問1年齢	問2賛否	問2期待	問2 導入後に期待すること_その他記述
3	1	3	アズミノという親しみやすさとひびき
2	1	3	イメージがよい
3	1	3	ブランド力がある名称だから
4	1	3	安曇野という言葉がうつくしい
2	1	3	観光連携の一体化と知名度のアップ
3	1	3	県外に行くときに目立つから
2	2	3	手続き等しやすくなる

池田町

問1年齢	問2 賛否	問2期待	問2 導入後に期待すること_その他記述
4	1	3	安曇野市との合併
2	1	3	進化、新価
3	2	3	話題性
2	1	3	地域のイメージアップ
2	1	3	見栄えがいい
2	2	3	免許センターがちかくなること
3	1	3	各種書類写のコンビニ手続
2	1	3	ネームバリューの向上
2	1	3	なんとなく良い
2	1	3	1と2の両方
2	1	3	マナーの悪い松本ナンバーが嫌です
4	1	3	価値向上の動機付け
2	2	3	観光地としてのアピールになる
2	2	3	安曇野の知名度アップ
3	1	3	知名度アップ効果
2	2	3	特色あるナンバー導入による様々な効果
2	2	3	新しいナンバーをつけて他の地域に行った時の話題性
3	1	3	なし
3	2	0	ブランド・ネームバリュー
2	2	3	地域ブランディング・PR

松川村

問1年齢	問2 賛否	問2 期待	問2 導入後に期待すること_その他記述
3	2	3	観光集客のための動く広告塔の役割
2	1	3	知名度の向上
4	1	3	1と2の両方
1	2	3	安曇野を宣伝
2	1	3	1と2の両方
3	1	3	1と2の両方
2	1	3	豊かな自然、郷土 安曇野の存在感上昇
4	1	3	1と2の両方
2	2	3	地名度を向上によるブランド力の強化
3	2	3	知名度の向上
4	1	3	郷土愛の醸成
1	2	3	特別感をもてる
3	2	3	安曇野の名を全国に売ることになる。松本ナンバーカバーエリアの縮小につながる。
3	1	3	安曇野の知名度向上
4	1	3	1と2の両方
3	1	3	ネームバリューを活かしてどんどん地域のアピールに結び付けていけば…
3	1	3	日本中を安曇野ナンバーで走り回る
3	2	3	1と2の両方
4	1	3	1と2の両方

## 2.2 クロス集計

### (1) 市町村・年齢別の賛否

安曇野ナンバー導入に関する賛否の意向を、世代と市町村の組み合わせでクロスさせて集計した。回収数による集計表を本ページに、比率でまとめたグラフを次ページに示す。

グラフから、世代が高齢になるほど青色の賛成（賛成、どちらかという賛成）の比率が高くなる傾向がみられる。4市町村全体でみると、10・20代は62.5%、30・40代は63.9%、50・60代は70.9%、70代以上は80.8%となっている。

逆に若い世代、とくに10～40代では（反対、どちらかという反対）の比率が他の世代より高くなる。70代以上は17.6%、50・60代は27.8%、30・40代は35.0%、10・20代は31.9%であった。この傾向が顕著なのは生坂村で、ここでは10・20代、30・40代で賛成と反対が拮抗している。

表 年齢・居住地と導入賛否のクロス集計結果 (単位:通)

		賛成	反対	無回答	合計
10代20代	安曇野市	45	15	0	60
	生坂村	14	14	1	29
	池田町	20	8	0	28
	松川村	29	14	0	43
	全体	108	51	1	160
30代40代	安曇野市	172	81	3	256
	生坂村	43	41	2	86
	池田町	73	31	0	104
	松川村	63	39	1	103
	全体	351	192	6	549
50代60代	安曇野市	245	80	2	327
	生坂村	101	57	2	160
	池田町	117	61	4	182
	松川村	140	38	3	181
	全体	603	236	11	850
70代以上	安曇野市	218	33	3	254
	生坂村	129	33	3	165
	池田町	148	37	4	189
	松川村	126	32	3	161
	全体	621	135	13	769

※アンケートの間2 で

1. 賛成 もしくは 2. どちらかという賛成を選択した回答 ⇒賛成として集計
3. どちらかという反対 もしくは 4. 反対を選択した回答 ⇒反対として集計

※全体=4市町村の合計値

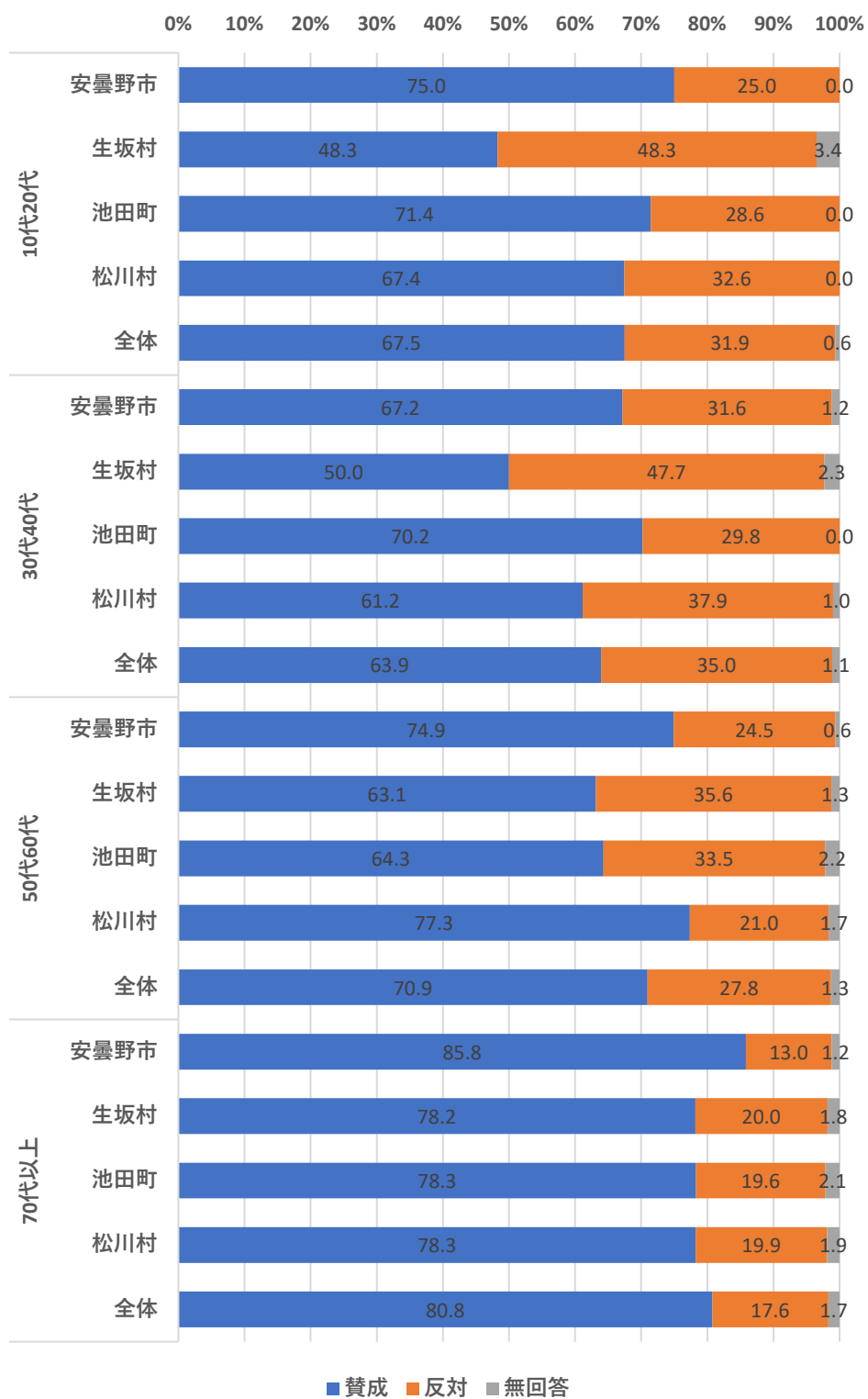


図 年齢・居住地と導入賛否のクロス集計結果 (単位:%)

## (2) 市町村・年齢区別の期待

安曇野ナンバー導入に賛意のある方の導入後の期待としては観光連携の一体化を選択する人の比率が、どの自治体、どの世代においても、地域の一体感の醸成を期待する回答の比率よりも高くなっている傾向が見いだされる。

観光連携の一体化を選択する人の比率が高い上位3つのカテゴリーは、池田町の50・60代、安曇野市の50・60代、安曇野市の30・40代の順になっている。

一方、地域の一体感の醸成を選択する人の比率が高い上位3つのカテゴリーは、生坂村の70代以上、松川村の70代以上、安曇野市の70代以上となっている。

表 年齢・居住地と導入後の期待のクロス集計結果 (単位:通)

		地域の一体感の醸成	観光連携の一体化	その他	無回答	合計
10代20代	安曇野市	14	25	5	1	45
	生坂村	4	9	0	1	14
	池田町	6	12	1	1	20
	松川村	11	15	3	0	29
	全体	35	61	9	3	108
30代40代	安曇野市	49	106	17	0	172
	生坂村	13	25	5	0	43
	池田町	23	36	14	0	73
	松川村	22	35	6	0	63
	全体	107	202	42	0	351
50代60代	安曇野市	58	157	29	1	245
	生坂村	35	59	7	0	101
	池田町	34	76	7	0	117
	松川村	42	81	12	5	140
	全体	169	373	55	6	603
70代以上	安曇野市	85	123	7	3	218
	生坂村	59	63	4	3	129
	池田町	56	84	4	4	148
	松川村	54	62	6	4	126
	全体	254	332	21	14	621

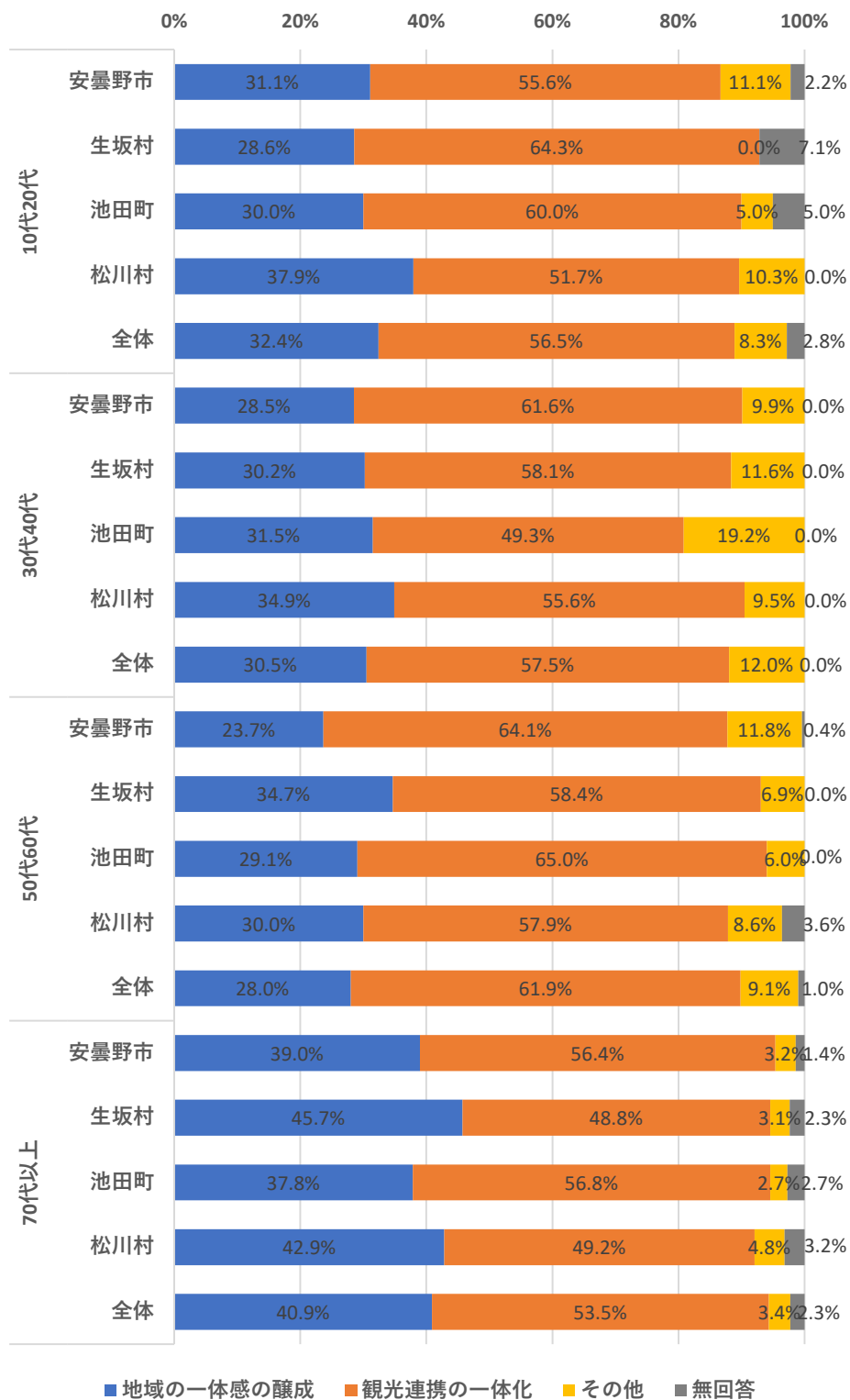


図 年齢・居住地と導入後の期待のクロス集計結果（単位：%）